

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「リソースの有効活用・効果的な人材育成に関する連携事例」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路	巡回 修繕 ① 清掃 除草 剪定			② 橋梁	② 橋梁	② 橋梁
河川	(※窓口業務、維持作業の内容は今後の調整による)			(日常維持管理業務とは別業務)		
公園						
下水道						
その他						

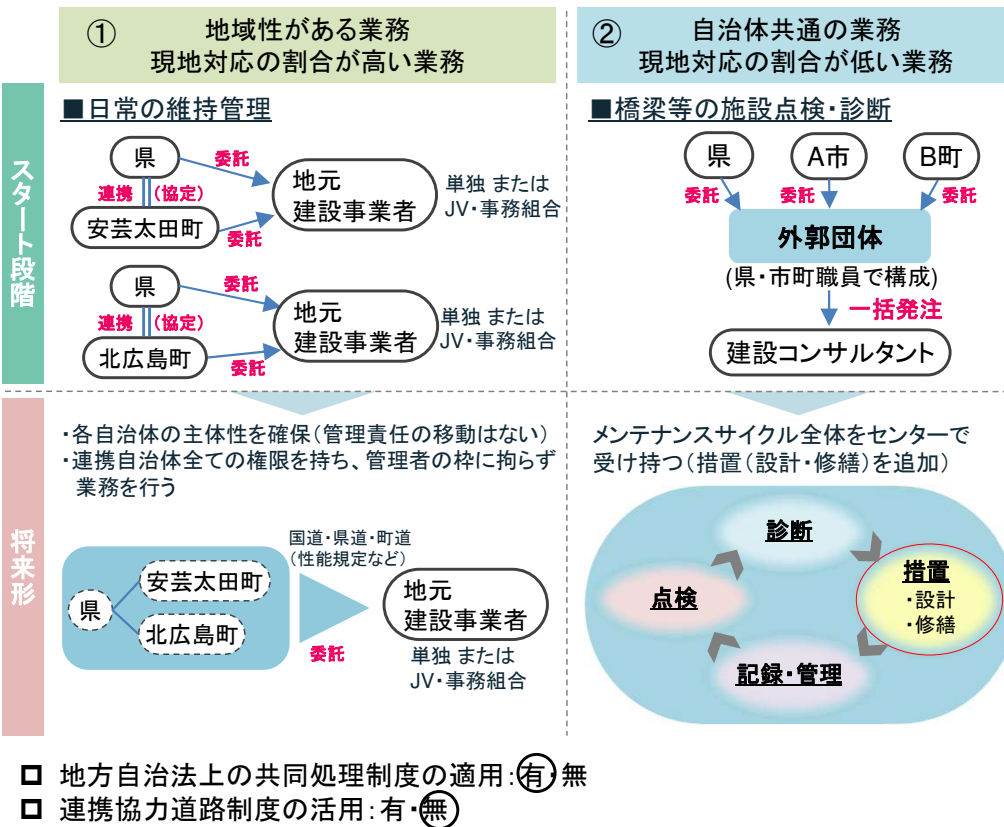
■ R9年度～ ① 広島県、安芸太田町、北広島町 ② 広島県、希望する市町
■ 将来 ② 広島県、希望する市町

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化: 有(3年程度)・無 ※段階的に拡大
- 性能規定の導入: 有・無 ※対象範囲は検討中

(2) 自治体の束

- ✓ 業務の内容や特性に応じた束ね方(連携体制)を想定
- ✓ 各自治体の技術力の維持に寄与する連携体制を想定(水平補完)



(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

⇒ 外郭団体において、自治体職員・建設事業者向けの研修の実施や技術相談、有識者との連携(高度な技術が必要な案件等に対する支援)など、産官学の連携をリードする

② データ連携の具体メニュー

⇒ システムの共同化、データ連携を進める

システム共同化イメージ(当面): アセットマネジメントシステムなどの既存システムの共同化や、県で新規に導入するシステムの共同利用促進など